

◆◆◆ 2017 年度活動計画（事業年度：1月～12月）◆◆◆

*** 宮城県ユニセフ協会は 22 年目の活動に入りました ***

- 1月 ◎いわさきちひろ複製画展
(みやぎ生協貝ヶ森店、古川南店、西多賀店、28日～2/4)
- 2月 ◎講演会「3.11 から6年～みんなのこと、忘れないよ!」(25日)
講師：ふじ幼稚園鈴木信子さん (日立システムズホール仙台)
- 4月 ◎写真パネル展「子どもの権利を守るパネル展」(宮城県庁1階ロビー)
◎講演会「3.11 から6年～あの日を語る、未来を語る」(22日)
講師：佐藤敏郎さん(仙台市シルバーセンター・交流ホール)
- 5月 ◎写真パネル展「守りたい、子どもたちの未来」
(東北電カグリーンプラザ、23日～27日)
- 6月 ◎ユニセフのつどい2017「早川千晶さん、アフリカトーク&ライブ」
(仙台市戦災復興記念館・記念ホール、3日)
◎国際理解講座「ガーナの協力隊活動と大震災」(24日)
講師：菅野芳春さん(日立システムズホール仙台・エッグホール)
◎学習講師研修会(東京・日本ユニセフ協会)
- 7月 ◎夏休みユニセフ教室「親子で参加する外国コイン仕分け活動」
(みやぎ生協ウィズ、29日)
- 8月 ◎国際理解講座「地球のステージ」(仙台市福祉プラザ、5日)
- 9月 ◎せんだい地球フェスタ2017(仙台国際センター、日程未定)
- 10月 ◎UNICafe～ユニセフ入門講座(みやぎ生協ウィズ)
- 12月 ◎映画上映会 (せんだいメディアテーク)
◎ハンド・イン・ハンド(街頭募金活動、23日)

ほかに、報告会等、イベントの開催があります。

ボランティア例会(毎月22日)やボランティア学習会を開催します。

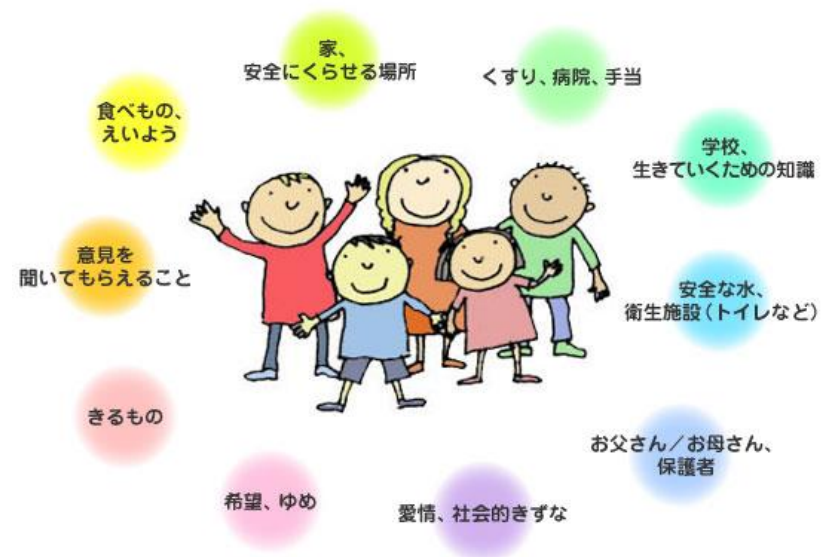
出前講座(ユニセフ学習会)は学校などからの依頼によります。

ニュース・レターの発送作業が1・4・7・10月に数日間あります。

まずは、見学からいかがですか。お気軽にご参加ください。

宮城県ユニセフ協会

ボランティア活動



©日本ユニセフ協会

宮城県ユニセフ協会

〒981-3194 仙台市泉区八乙女 4-2-2 みやぎ生協 A 棟 3F

Tel 022-218-5358 Fax 022-218-3663

E-mail sn.municef_miyagi@todock.jp

宮城県ユニセフ協会のボランティアの会を

「イトカの会」と名づけています。
世界中の子どもたちが健やかに暮らせるように、活動に参加しませんか？



©UNICEF/NYHQ2012-1726/Al-Masri

活動費の支給はありませんが、場合により交通費実費（公共交通機関）をお支払いします。4月から3月まで、ボランティア保険に加入することもできます。（年間300円 自己負担）

宮城県ユニセフ協会は、公益財団法人日本ユニセフ協会の協力協定地域組織の一つで、全国に25の地域組織があります。さまざまな活動はボランティアのみなさまの協力で行っています。

パネルの展示



蚊帳の体験



日本ユニセフ協会の「賛助会員」加入も任意ですが、おすすめしています。一般会員は年会費5,000円です。（法人会員10万円、学生会員2,000円）会費の50%が宮城県ユニセフ協会の運営を支える活動資金となっていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

「イトカ」の由来

第二次世界大戦で荒れ果てたヨーロッパの村に住む7歳の少女イトカちゃんは、ユニセフの援助に対して感謝をこめて絵を描きました。そのアイデアがユニセフ・カードとなったのです。

特別な資格は必要ありません。

“ **できるときに、できることを** ”

お気軽にご参加ください。

◆◆◆ ボランティア活動にはこのような内容があります ◆◆◆

- 企画・運営
- ・ ユニセフのつどい
 - ・ 各種研修会や学習会
 - ・ 写真パネル展
 - ・ 外国コイン仕分け活動



- 学習講師
- ・ UNICafe（気軽なユニセフ入門講座）
 - ・ 出前講座（学校や団体へ出向いての学習会）
 - ・ ・ ・ 講師や講師の補助を行います

ニュース・レター発送

年4回発行（1、4、7、10月）
一斉に発送作業を行います。



- 募金活動
- ・ ハンド・イン・ハンド（12月に行う街頭募金活動）
 - ・ 緊急募金活動



- スタディツアー
- 日本ユニセフ協会主催のスタディツアーに参加することができます。今までにフィリピン、ネパール、ミャンマーの女性と子どもの様子を視察してきました。

※ 活動に関しては、お気軽にお問い合わせください。